(事務局より) ● 検討課題:リリア・美術館・西公園を文化芸術拠点として整備。どのようにすれば相乗効果が生まれ、最大限の効果を発揮できるか検討。

● 美術館施設与件: 2階でリリオと接続(2階がメインの入口) 2階:アトリウム(650㎡)展示室1(540㎡)展示室2(225㎡)レストラン、多目的室

1階:展示ホール(310㎡)収蔵庫、事務室、機械室等

### A.ターゲットと利用シーン

## ●駅前の大規模公園という 貴重な立地を生かした活用

● 都心エリアで駅前にこれほどの公園があ るのは原宿を除き川口だけ

### 6 小中高生と保護者が いつしょに楽しめる

- 小学生が行きたいと思うイベントに期待
- 小中学生、高校生を対象した施設づくり
- 保護者と一緒に楽しめる仕掛けの必要性

## **の**気軽に美術と触れ合い、 くつろぎ、楽しめる

- リリアと西公園に集まる親子連れが気軽に美術と触 れ合える
- リリアに来た人も気軽に美術館にきてくつろげる、 楽しめる

#### ◆仕事帰りに寄りたくなる美術館

- 川口は「いってきます、ただいま」の街。「ただい ま」と帰ってきた時に寄って帰ろうと思う拠点に。
- 仕事帰りの人が寄ることができる時間設定(リリア 開館時間:22時)

# B.さまざまなプログラム展開

## ●次世代が育つ、次世代が集まる

- 子どもは無料など、教育に貢献
- 次世代のキュレーターが育つ
- アートによる幼児教育

#### の伝統文化の コアが感じられる

● 和歌の映像化など

# **②子どもが保護者を連れて ③ビジネスとの連携** くる仕掛け

例:金沢21世紀美術館(学校で の無料チケット配布)

● デザインシンキング、アート 発想でイノベーションを支援

# D.イベント・情報発信

# C.運営のあり方

#### ●行政の枠を超えた美術館運営の必要性

- 美術館運営の知識、能力を持つ館長の起用
- 名物館長
- 様々な課題や経済への波及効果を考えられる人材
- 外部人材、若手の活用
- 美術館にふさわしい人員体制検討の必要性

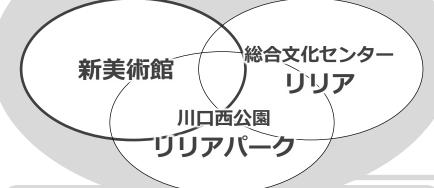
#### 2 美術館にふさわしい接遇

# ● 職員の制服やマナー

# ❸最新技術を活用した 来館者接遇・案内

- AIの音声ガイド
- 自動運転の車いす
- ロボットによる解説

# 川口市文化芸術拠点



#### **↑** ネーミングと多彩な展開

- 美術館・リリア・公園を総称する名前が重要
- リリアの知名度を生かす。
- キャラクターやテーマソングなども検討

## 2川口の人・まちと連携したイベント

- ビールフェスタのような大人向けイベント(例: バーボンで有名な方がいる商店街との連携など)
- お祭り気分でまち全体で美術を楽しむ(市民それぞ れがお宝を"出展")

# 4 来館者に快適な環境

- 休憩スペースの設置
- 高齢者への配慮

**G**食事のできるカフェ・レストラン 帰りに寄りたくなるショップ

# F.文化芸術拠 点としての3 施設間の連携

#### **の**まち全体を音楽と美術で彩る"音楽祭"

例:丸の内「ラ・フォル・ジュルネ東京2023」

- クラシック音楽と多彩なイベントが融合した音楽祭
- ホールでの有料コンサートに加えて無料のエリアコンサートを展開
- 三菱一号館美術館では関連したテーマの美術を紹介
- 毎年GW3日間開催、2005年~2019年までに延べ866万人が来場

# G.まちづく りや地域と の連携

# E.施設活用の新しい可能性

### ●美術館の雰囲気を 付加価値とした企業利用

- 美術館スポンサー企業は優先貸出可能など
- 美術館展示室の会議室利用への提供

#### 2公園との回遊性創出の必要性

- 公園やリリアを利用する家族連れや子 どもの回遊を促進する工夫の必要性
- 環境演出(装飾・音楽等)による美術 館への誘導
- 美術館でのあそびエリアの設定、音を 楽しむ遊具の設置

#### ☆エリアの「雰囲気づくり」

- 公園を含めた雰囲気づくりの重要性
- なんとなく居心地の良い雰囲気
- 川口の街に波及する雰囲気

#### 6 夜のにぎわいづくり

# a 川口らしさを 実感できる拠点

- 川口のイメージとしての 「鋳物 | や「植木 |
- 市民や子どもたちが「川口 らしさ」が実感できる